



第 86 号 (年 4 回発行) 編集発行 前学 院大 学 弘 報 委 員 会 印刷所 印 刷 所 (有)小野印刷所

ディプロマ・ポリシー(DP)と 学修成果とその可視化



学長 藁科 勝之

大学教育の質保証にとって最も重要な指標の一つになっていく学修成果の可視化について、前号のこの記事の最後に、「卒業時に身に付けたものを、どのような指標で測り、どのような達成度なのかを測定するという課題があります。本学ではそのために「アクセスメント・ポリシー」を策定しましたが、その十分な具体的な運用・活用は今後の課題」と書きました。

現在そして今後も、求められ

ているものは学修成果とその可視化なのですが、その学修成果はDPの達成度として表されま

この時はAPに重点が置かれ、平成20年「学士課程教育の構築」では、学士課程教育における3つの方針の明確化、士力の内容提示、DPの具体化・明確化などであり、DPの重視でした。

平成24年「大学教育の質的転換」では、DPの明示、改革サイクル構造の定着など、そして平成28年「3ポリシーの策定及び運用に関するガイドライン」では、3ポリシー策定の意義・重要性及びPDCAサイクル、内部質保証、その自己点検評価と改善

このように、当初はAP重視、次いでDPの明確化と進み、そ

して重視の度合いを強めきたのが3ポリシーを踏まえての内部質保証でした。本学もこれに沿って、3ポリシーを具体化し公表してまいりました。

では、この内部質保証はPDCAサイクルにおいてどのような位置を占めるのか。大学教育改革の軸になる3ポリシーの中でも、PDCAサイクルの視点から、とりわけ重要視されるのがDPです。なぜならDPは内部質保証のためのPDCAサイクルの起点として位置づけられるからです。すなわち、企画・計画(プラン)P↓実行D↓検証C↓改善A

このPが、卒業時にはこうした力を身に付けている、という教育目標を掲げる部分になるからです。ですから3ポリシーの点検・評価にあたって、順序としてまずDPから始めるのが相

「発信!方言の魅力

かだるびや・かだるべし 青森県の方言2021」報告

文学部 日本語・日本文学科 教授 今村 かほる

弘前学院大学では、文化庁の「被災地における方言の活性化支援事業」に9年連続して採択され今年度は「発信!方言の魅力」かだるびや・かだるべし青森県の方言2021」(研究責任者:文学部教授今村かほる)と題して活動を行っている。この活動は、文学部3年生の今村ゼミの学生たち16名を中心に、八戸工業大学の岩崎真梨子准教

授八戸童話会をはじめとする県内各地の語り部のみならずとの連携によって行ってきた。昨年度からコロナ禍での制限を伴う活動であるが、大学の地域貢献の一翼を担う活動となっている。

今年度の活動として、まず、「国語教育における方言と共通語」研究を行っている。この他11月には県内の語り部の研修会

「語り部ネットワーク会議」を青森市の他、今年度新たにむつ市でも開催した。

また、12月の第一土曜日である「南部弁の日」には、八戸市において語りの会、第9回南部弁の日を開催した。昨年度から取り入れたオンラインの併用により、対面での鑑賞するだけでなく、全国各地からの参加も可能になった。第1章は「たくさん

コを楽しみましょう 南部弁さみっとin八戸」と題して、北は下北、南は岩手県釜石市まで、また中学生から語りの達人までというバラエティー豊かな語りの会となった。第2章は「南部弁と出雲弁さみっと」方言でつながる青森と島根」と題して、オンラインで島根県松江市と中継を繋いで行った。松本清張「砂の器」でも有名な「ズーズー弁」を有する方言であり、実際に南部弁と出雲弁のズーズー弁を聞き比べた。その他、それぞれの当地自慢を方言で行ったり、南部と出

であると考えます。これについて大学基準協会は、学修成果の修得状況を測定・評価するための方法について、全国の大学にアンケート調査を行いました(達成度評価のあり方に関する調査研究報告書「令和3年9月」)。そこでは、学修成果の測定・評価手法が種類・性格の別に8種・約30項目に整理されており、その8種とは「学内試験」、「学外試験」、「実践的学習の評価」、「授業に向き合う姿勢」、「修了認定」、「学習の結果や成果の指標」、「学習到達度の意識調査」、「学習到達度の水準評価の手法」など多岐に亘りますが、多様でありながら共通点として挙げられるのは、いずれも学修成果の可視化と関連づけられるものであり、その中で評価ツールとしても有効とされます。本学の手法も濃淡はありながら概ねこれを設定してまいります。しかしながら、アンケートの回答にもあったように、各大学はそれぞれの教育方針に即した手法の設定に腐心しているのが実情なのです。今後は本学も、本学にふさわしいものを練り上げていかなければなりません。

雲の特徴的なあいさつや、「桃太郎」の聞き比べなどを行った。また、南部と出雲の昔話の披露など、オンラインならではの特徴を活かして、じっくりと楽しんだ。

本学の学生たちは、こうした研究活動の企画と運営にあたり、心のこもった弘学ならではの取組と評価されている。大学内だけでなく地域の中において学びを深め、得難い経験をする

【大学公開講座報告】 雪について考える

「克雪から親雪への発想転換」

社会福祉学部 社会福祉学科 教授 高橋 和幸

平川市教育委員会より大学公開講座の派遣依頼を受けました。2021(令和3)年12月18日(土)13時30分から15時30分、第12回礎ヶ関公民館講座、演題「雪について考える」克雪から親雪への発想転換」にてお話しをしてまいりました。前日から本格的な積雪となり、当日も足元の悪い中にも関わらず地区住民11名、教育委員会職員2名の来場がありました。冒頭、積雪の多い農村部出身であることを自己紹介で述べ、来場者の皆様と打ち解けるため会話のキャッチボールをさせてまいりました。自然豊かな礎ヶ関地域のよいところ、好きなところについてお一人お一人から教えてまいりました。私の知らなかった礎ヶ関の魅力がたくさん教えて頂きました。過疎化の進む地域で発生する様々な課題ばかりに注目してしまつとマイナス思考になってしまいますから、「良いところを注目しましょう」という

雪の発想転換」にてお話しをしてまいりました。前日から本格的な積雪となり、当日も足元の悪い中にも関わらず地区住民11名、教育委員会職員2名の来場がありました。冒頭、積雪の多い農村部出身であることを自己紹介で述べ、来場者の皆様と打ち解けるため会話のキャッチボールをさせてまいりました。自然豊かな礎ヶ関地域のよいところ、好きなところについてお一人お一人から教えてまいりました。私の知らなかった礎ヶ関の魅力がたくさん教えて頂きました。過疎化の進む地域で発生する様々な課題ばかりに注目してしまつとマイナス思考になってしまいますから、「良いところを注目しましょう」という

雪の発想転換」にてお話しをしてまいりました。前日から本格的な積雪となり、当日も足元の悪い中にも関わらず地区住民11名、教育委員会職員2名の来場がありました。冒頭、積雪の多い農村部出身であることを自己紹介で述べ、来場者の皆様と打ち解けるため会話のキャッチボールをさせてまいりました。自然豊かな礎ヶ関地域のよいところ、好きなところについてお一人お一人から教えてまいりました。私の知らなかった礎ヶ関の魅力がたくさん教えて頂きました。過疎化の進む地域で発生する様々な課題ばかりに注目してしまつとマイナス思考になってしまいますから、「良いところを注目しましょう」という

雪の発想転換」にてお話しをしてまいりました。前日から本格的な積雪となり、当日も足元の悪い中にも関わらず地区住民11名、教育委員会職員2名の来場がありました。冒頭、積雪の多い農村部出身であることを自己紹介で述べ、来場者の皆様と打ち解けるため会話のキャッチボールをさせてまいりました。自然豊かな礎ヶ関地域のよいところ、好きなところについてお一人お一人から教えてまいりました。私の知らなかった礎ヶ関の魅力がたくさん教えて頂きました。過疎化の進む地域で発生する様々な課題ばかりに注目してしまつとマイナス思考になってしまいますから、「良いところを注目しましょう」という

雪の発想転換」にてお話しをしてまいりました。前日から本格的な積雪となり、当日も足元の悪い中にも関わらず地区住民11名、教育委員会職員2名の来場がありました。冒頭、積雪の多い農村部出身であることを自己紹介で述べ、来場者の皆様と打ち解けるため会話のキャッチボールをさせてまいりました。自然豊かな礎ヶ関地域のよいところ、好きなところについてお一人お一人から教えてまいりました。私の知らなかった礎ヶ関の魅力がたくさん教えて頂きました。過疎化の進む地域で発生する様々な課題ばかりに注目してしまつとマイナス思考になってしまいますから、「良いところを注目しましょう」という

雪の発想転換」にてお話しをしてまいりました。前日から本格的な積雪となり、当日も足元の悪い中にも関わらず地区住民11名、教育委員会職員2名の来場がありました。冒頭、積雪の多い農村部出身であることを自己紹介で述べ、来場者の皆様と打ち解けるため会話のキャッチボールをさせてまいりました。自然豊かな礎ヶ関地域のよいところ、好きなところについてお一人お一人から教えてまいりました。私の知らなかった礎ヶ関の魅力がたくさん教えて頂きました。過疎化の進む地域で発生する様々な課題ばかりに注目してしまつとマイナス思考になってしまいますから、「良いところを注目しましょう」という

雪の発想転換」にてお話しをしてまいりました。前日から本格的な積雪となり、当日も足元の悪い中にも関わらず地区住民11名、教育委員会職員2名の来場がありました。冒頭、積雪の多い農村部出身であることを自己紹介で述べ、来場者の皆様と打ち解けるため会話のキャッチボールをさせてまいりました。自然豊かな礎ヶ関地域のよいところ、好きなところについてお一人お一人から教えてまいりました。私の知らなかった礎ヶ関の魅力がたくさん教えて頂きました。過疎化の進む地域で発生する様々な課題ばかりに注目してしまつとマイナス思考になってしまいますから、「良いところを注目しましょう」という



講演会の様子(礎ヶ関公民館提供)

2021年度 弘前学院大学学位記授与式

卒業記念礼拝

研究紹介 ⑤1

リスクと社会

社会学部 社会学科 准教授 藤岡 真之



社会学では、リスク社会化という問題が30年以上議論されている。これは、私たちの社会に、対処すべきリスクが増大していることを問題にする議論である。具体的なリスクには、気候変動のリスク、原発事故のリスク、食品に関するリスク、そして、まさに現在世界中を混乱にもたらしめている感染症のリスクなどがある。これらは、人間が科学技術、あるいはもっと大きく捉えれば文明を発達させ、その恩恵を受ける裏面に生じてき

た負の側面である。

リスクの問題が社会学の領域で議論されるのは、個人的な対処のみでは問題の解決に至らず、社会全体として取り組む必要があるからである。しかし社会的に取り組むためには、個人の行動の制限が必要であったり、既存の利害の変更を伴ったりする。そのため、リスクの捉え方や対処方法をめぐる見方の違いが、ときに感情的対立や諍いをもたらし、たとえば、コロナ禍においてはマスクをするか否か、外食をするか否かをめぐって、あるいは3・11後には、食品中の放射性物質が危険であるか否かをめぐって問題が存在することを、私たちは苦い感情

と共に知っている。では、そもそも、なぜ人々の間でリスクの捉え方に違いが生じるのだろうか。これにはいくつかの理由がある。そのうちのひとつは、被害の受けやすさの違いである。たとえば、コロナ禍においては、年齢が上がるほど感染不安は高いだろう。また、筆者が関わった調査のデータを分析した結果、年少の子どもを持つ女性は放射性物質に対する不安が高いことが明らかになっている。これらが示すのは、立場が違えば、リスクの受け取り方も違うということである。

このほかに、政府や専門家に對する信頼の程度も重要である。たとえば、政府に対する信頼感が低いと、放射性物質に対する不安が高くなること、調査データから明らかになっている。一般的な人々は、政府や専門家が提供する情報に多くを頼

コロナ禍における学生への支援について

社会学部 社会学科 准教授 藤岡 真之

社会学部 社会学科 准教授 藤岡 真之

新型コロナウイルス感染症(以下コロナ)というの影響下における学生への支援を報告します。

2021年10月初旬、本学学

友会からの援助金をもとに、全学生を対象に5000円を支給しました。

2021年6月より、学友会の援助で経済的な問題から生理用品の購入が困難な学生に対し、トイレに生理用品を設置しています。

2021年11月初旬、弘前市による学生への食支援事業として、市内各店よりアップルパイをご提供いただきました。アップルパイは2日間わたり配布し、各日程で約10店舗のアップルパイを配布しました。行列ができるほど多くの学生がどの店舗のアップルパイにするか吟味していました。

今後も、コロナの影響を受けている学生への支援を引き続き行う予定です。

2021年10月11日、弘前市による学生への食支援事業として、市内各店よりアップルパイをご提供いただきました。アップルパイは2日間わたり配布し、各日程で約10店舗のアップルパイを配布しました。行列ができるほど多くの学生がどの店舗のアップルパイにするか吟味していました。

2021年11月初旬、弘前市による学生への食支援事業として、市内各店よりアップルパイをご提供いただきました。アップルパイは2日間わたり配布し、各日程で約10店舗のアップルパイを配布しました。行列ができるほど多くの学生がどの店舗のアップルパイにするか吟味していました。

今後も、コロナの影響を受けている学生への支援を引き続き行う予定です。

声だし・指差し確認を行っています。感染予防では手指衛生やマスク・エプロン等の着用、廃棄物の取り扱い等も具体的に体験します。

その他に、ユニフォームや爪、髪型等の身だしなみ、時間を守る等のマナーも大事にしています。グループで演習するので、学生同士での協力も必要になってきます。さらに、使用する物品の準備や取扱い、片付けも丁寧にします。例えば、使用したワゴン車はきれいに拭いて戻します。洗ったタオルはシワを伸ばして干します。

このように、演習で様々な援助技術を体験しながら、学習方法を記録方法、安全確認や感染予防、身だしなみやマナー等の基本的なことを繰り返して学び

と共通している。では、そもそも、なぜ人々の間でリスクの捉え方に違いが生じるのだろうか。これにはいくつかの理由がある。そのうちのひとつは、被害の受けやすさの違いである。たとえば、コロナ禍においては、年齢が上がるほど感染不安は高いだろう。また、筆者が関わった調査のデータを分析した結果、年少の子どもを持つ女性は放射性物質に対する不安が高いことが明らかになっている。これらが示すのは、立場が違えば、リスクの受け取り方も違うということである。

このほかに、政府や専門家に對する信頼の程度も重要である。たとえば、政府に対する信頼感が低いと、放射性物質に対する不安が高くなること、調査データから明らかになっている。一般的な人々は、政府や専門家が提供する情報に多くを頼

基礎看護技術の演習について

看護学部 准教授 阿部 智美



1年生や2年生の基礎看護技術の授業を担当しています。基礎看護技術では、血圧測定や車椅子での移動等の様々な援助技術を学びます。授業は講義だけでなく、演習で体験を通して学ぶことが多いです。その演習の様子を紹介させていただきます。

演習前には援助技術の手順や手技の理由や根拠を教科書や参考書を読んで事前学習します。

根拠を踏まえて学習することで援助技術の理解が深まります。また、演習後は体験したことを振り返り、記録にまとめます。体験したことをまとめることで、状況を分かりやすく伝え、実施した援助を評価してより良い援助を考えるのに役立ちます。

演習では、看護者・患者役の体験を通して学びます。患者さんへの説明や声がけ等に特に注意します。常に患者さんの状態をみて援助することが大事です。また、事故防止のため、患者の氏名をフルネームで確認、

このように、演習で様々な援助技術を体験しながら、学習方法を記録方法、安全確認や感染予防、身だしなみやマナー等の基本的なことを繰り返して学び

と共通している。では、そもそも、なぜ人々の間でリスクの捉え方に違いが生じるのだろうか。これにはいくつかの理由がある。そのうちのひとつは、被害の受けやすさの違いである。たとえば、コロナ禍においては、年齢が上がるほど感染不安は高いだろう。また、筆者が関わった調査のデータを分析した結果、年少の子どもを持つ女性は放射性物質に対する不安が高いことが明らかになっている。これらが示すのは、立場が違えば、リスクの受け取り方も違うということである。

このほかに、政府や専門家に對する信頼の程度も重要である。たとえば、政府に対する信頼感が低いと、放射性物質に対する不安が高くなること、調査データから明らかになっている。一般的な人々は、政府や専門家が提供する情報に多くを頼

このほかに、政府や専門家に對する信頼の程度も重要である。たとえば、政府に対する信頼感が低いと、放射性物質に対する不安が高くなること、調査データから明らかになっている。一般的な人々は、政府や専門家が提供する情報に多くを頼

ディズニの原作特集

社会学部 社会学科 准教授 藤岡 真之

社会学部 社会学科 准教授 藤岡 真之

図書館ではただいまディズニアニメの原作となった作品の展示をしています。

どんな作品が並んでいるのか、いくつか紹介していきたいと思ひます。

『不思議の国のアリス』……とある屋下がり、主人公のアリスはチョコッキを着て懐中時計を

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『人魚姫』……人魚が人間に恋をする。アンデルセン童話の中でもとくに有名な作品。魔法のランプを奪われてしまつて

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『人魚姫』……人魚が人間に恋をする。アンデルセン童話の中でもとくに有名な作品。魔法のランプを奪われてしまつて

『ピノキオ』……ゼペットとい

『ピノキオ』……ゼペットとい

『ピノキオ』……ゼペットとい

聖愛中学校・高等学校授業研究

社会学部 社会学科 准教授 藤岡 真之

社会学部 社会学科 准教授 藤岡 真之



9月13(月)・14(火)、高連携事業の一環として、本学文学部と社会学部社会学科の教職課程にある学生による「聖愛中学校・高等学校授業研究」が行われた。文学部英語・英米文学科18名、日本語・日本文学科17名、社会学部社会学科2名の学生が参加した。

コロナ禍において、教育実習前に実際の教育現場を観察することが大変、難しくなっている中、授業案の説明、授業見学、講評と質疑を行える貴重な機会となった。

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き

『白雪姫』……自分の命を狙う嫉妬深い継母から逃れた白雪姫は小人たちが住む家に辿り着き



博物館実習を終えて

文学部 日本語・日本文学科4年 高杉 英

博物館実習では、私は青森県立美術館で実習をさせていただきました。実習の中で感じたことは、学芸員の方々は自らの仕事に誇りを持っていること、そして学芸員の仕事は私が想像していたよりもずっと多岐に渡っているということでした。



実習では「青森県立美術館の概要」などといった座学から、展示の仕方や展示に対する学芸員の思い、美術館の運営など様々な分野について丁寧に教えていただきました。また、最終日に行われる演習の「企画展の計画・発表・講評」に向けて、資料集めや企画展の見学など、実習で得られるものを出来る限り吸収するべく活動しました。また、実習の中には県外から訪れている実習生もいました。私

は事前に他の実習生は全員県外から来る旨を知っていたため、積極的にコミュニケーションをとるということも目標のひとつとしていました。努力の甲斐あって、実習中には他実習生と良好な関係を築くことができ、そのおかげでとても活動しやすいう雰囲気の中で実習を行うことができました。

今回のこの博物館実習では、青森県立美術館の運営について、また学芸員視点で見る展示について、大学の講義では学ぶことのできない貴重な体験をすることができました。実習中には、学芸員の方々のお話や他実習生との交流、演習発表に向けて調査など、自分なりに目標をもって一生懸命努力を重ねてきました。しかしそんな中でも「もっとこうすれば」という後悔が少し残る結果となり、とても惜しいことをしたと今でも感じています。

このように、実習では様々な

「インターンシップを経験して」

文学部 日本語・日本文学科2年 笹森 若菜

インターンシップとはどのようなものなのか分からなかったため、授業でインターンシップを四日以上行くことが単位認定の条件だった「キャリアアデプティン」の授業を取り、今回自分が行きたいと思う企業でインターンシップを行いました。私が行ったインターンシップ先は、弘前市役所と有有限会社弘前

ことに挑戦し、貴重な経験や知識を沢山得ることができました。同時にその中で生まれた後悔や様々な経験から、新たな課題を見つけることもできました。ある意味でもとても成長することができた実習となったと感じています。今回この実習から得た学びを自分自身の成長に繋げ、またその為の努力を続けていきたいと思っています。

こぎん研究所でした。私は弘前市役所で行われている事業やどのような職種があるかをほとんど知らなかったため、市役所にインターンシップへ行くことで、普段公務員はどのようなことをするのか理解することを今回のインターンシップでの目標にしました。弘前市役所でのインターンシップは二

日あり、一日目に弘前市役所職員の方が公務員の仕事の魅力や部署ごとで行われている政策、職種などを説明していただきました。二日目は弘前図書館に行き、レファレンス体験やブックコート・修理解説、配架・書架整理、文学館の見学をしました。有限会社弘前こぎん研究所は、こぎん刺しの商品販売や他

社とのコラボ商品企画など、こぎん刺しを後世に残すために様々なことに挑戦している企業のため、インターンシップの目標を工芸品をどのように販売しているのかを知ることになりました。インターンシップは二日間あり、一日目は商品づくりをする場所、制作時のみ使用する機械や機を見学し、次に会社概要やこぎん刺しの歴史などを説明していただきました。二日目は自分でこぎん刺しを刺し、ブックカバーを制作しました。

実際にこぎん刺しを刺したことで、手作業で商品制作をしている有限会社弘前こぎん研究所のこだわりが工芸品として、後世に残すための秘訣だと感じました。今回のインターンシップを通して、他校の学生と比べて自分一人前ですることの経験値がかなり低いと感じたので、今後の学校生活で養っていくために色々な行事や発表などを積極的に参加していく必要があると思いました。

コロナ禍の社会教育実習を経て

文学部 日本語・日本文学科4年 田中 鈴奈

今回私が参加させて頂いた社会教育実習では、子どもリリーナー養成事業、ペテランズセミナーなどの公民館の事業と、図書館や郷土文学館の仕事を体験させていただきました。

例年と違いコロナ禍での実習ということで、通常時とは違った社会教育施設の様子、職員の仕事を学ぶことが出来ました。公民館では、様々な対象者に合わせた事業を行なっているため、事業ごとに参加者の年齢も異なり、それに応じて接し方も変わってくるという点を学

びました。例えば、小学生や高校生までが参加している子どもリリーナー養成事業であれば、積極的に発言できない子がいたりします。その為、話題を振ったり、意見を引き出すなどの工夫や周囲の様子に気を張って、困っている子がいらないか周囲に気を配る必要があります。しかし、下手に子どもを扱いはなく、ある程度子どもたちの自主性に任せ、子ども同士の交流を図り学習の手助けをすることが大切だと感じました。

実習以前は、なかなか積極的に行動できず指示を受けてから動くことが多かったのですが、実習を経て自発的に行動し、その場に応じて自身の役割を判断し感じられました。また、社会教育施設は地域の課題や環境に合わせた事業・講座を行ない、市民の学びを促進する役割があることも学ぶことが出来ました。

今回のコロナ禍の実習で参加者の方からお話を伺っていると、コロナによる影響で事業や

「文学散歩」ポスター展示を振り返って

文学部 日本語・日本文学科3年 渡辺 百香

11月14日に実施されたサークル等活動発表会にて、国語国文学会では、「文学散歩」のポスター展示、年に一度発行される学会誌、会報等の展示を行いました。今回は、学内関係者のみの入場となり、少し寂しいもの

でしたが、開催することができ、とても嬉しく思います。また、学部を問わず、来場してくださった方々には、大変感謝しております。

昨年度は、コロナの状況もあり、毎年行われていた夏季大会を始めとした国語国文学会の活動が中止になるなど色々ありました。加えて、弘学祭も昨年度は中止になってしまったため、活動報告や、「文学散歩」のポスター展示等を行うことができませんでした。

しかし、今年度は中止になってしまった活動もありですが、「文学散歩」等の活動が実施でき、少しずつですが、国語国文学会の活動に活気が出てきたように思います。

今回のポスター展示では、昨年2月に実施した、弘前れんが倉庫美術館についてまとめたポスターや、昨年の10月に実施した三沢の寺山修司記念館や先人記念館、三沢航空科学館についてまとめたポスターなど新しく展示しました。新しいポスターのほかに、過去数年で訪れた「文学散歩」についてそれぞれ

この弘学祭という場は、他の学部の方に、国語国文学会の活動を知ってもらうことのできる数少ない機会になっていると感じています。そのため、これからも、「文学散歩」で様々な地を訪れ、それらをまとめたポス

また、国語国文学会の活動を知らない方々へぜひ、弘学祭のポスター展示を訪れてみて下さい。



また、国語国文学会の活動を知らない方々へぜひ、弘学祭のポスター展示を訪れてみて下さい。



Witch gift do you like?

文学部 英語・英米文学科2年 前田 凌玖

10月29日、暖かきとは対照的に、冬の始まりを告げるかのようなイベントが行われ、人々を驚かせるという言葉には似合わないような、流行を象徴させたような衣装を身に纏い、大いに盛り上がりつつあった。そのイベントとはハロウィンパーティーである。

最初の活動はパンプリンカービング。その名の通り、パンプリンを彫るといふもので、各グループが、メンバーと協力して1つの作品を作り上げた。完成したものは何か人間の魂が入り込んだようにも感じた。

その後、ハロウィンスカベンジャーハント&クイズを行った。これは謂わば宝探しとクイズを組み合わせたようなものである。ここでは仲間を頼り、また助けるといった協調性が求められ、私は人間として成長できたような気がした。

最後のキャンディビンゴは、この日1番の賑わいを見せた。



友と興じる反面、敵愾心を燃やす者もいて、物事に対する人間の感情のコントラストの美しさを改めて感じたそんな素敵なイベントであった。

1ヶ月後の12月3日、冬の始まりを告げたのも現実味を帯びてきていた。外が暗い中、とある場所は、まるで天から光が照らされているかのようなであった。

今回のイベントでは、スカベンジャーハントとビンゴ、シンダグリスマスソングを行った。スカベンジャーハントは通常のクイズ+世界のクリスマスソングを当てるというもので、知識と協調性を求められ、これもまた活動を通じて、人間として成長できた気がした。



この日1番の盛り上がりを見せたのは、シンダグリスマスソングである。ここでは世界各地のキャロルを歌うことで、異文化理解を深めると同時に、自文化理解を図ることができ、とても充実した時間であったと感じた。

私はハロウィン、クリスマスパーティーに参加し、文化の違いを再認識することができたと思う。今後もこうしたイベントに参加していきたい、日本の文化

2021年度 スポーツ大会レポート

学生会執行委員 奈良 叶大

昨年は新型コロナウイルスの影響により開催を断念することとなったが、今年はマスクの着用や換気、消毒の徹底などの対策を万全にしたうえで、スポーツ大会を開催することができた。一昨年末では後期開始日である九月に開催したが、コロナウイルスの影響により今年は一月十四日に開催した。当日は雨が降っており、少々肌寒く感じていたが、いざ大会が始まる

と照らし合わせながら、其々の持つ魅力を知っていきたく強く感じた次第である。

そして、もし、誰かに君は楽しかったかと聞かれたら、私は心の中で迷わずイエスと言うだろう。

私たちが、地域活性化サークルを立ち上げた経緯として、大学生になると、行動範囲が増え、新たな場所を発見する機会も多くなるなどの経験から、実際に行って、お店や文化をインターネットで紹介することが弘前の魅力を伝えることになり、地域活性化にもつながると考え、地域活性化サークルを立ち上げた。また、コロナウイルスの拡大により、大学に行けず、外出を自粛する中で、お世話になったお店や、何度も行ったお店がなくなるかもしれないという危機感を感じ、何かできることはないかと学生間や顧問と相談をした。

地域活性化サークルの活動

看護学部 看護学科3年 幸山 咲琴

五月には、中小企業も「マスクが購入できずお店を開けない」というニュースを目にし、弘前商工会議所が「弘前エール飯」という地域への支援を行っていたため、マスクがなくてお店を再開できない、マスクの購入自体が経営の負担になるということを軽減できればと思い、学生の保護者が作成したマスクと、部費・顧問からの寄付でマスクを購入し、弘前商工会議所へ寄贈をした。また、学内でもペットボトルキャップの回収を行い、社会福祉協議会に届けた。この活動は、ワクチンなどの支援につながるため、現在も通常の活動として行っている。昨年はコロナの自粛が多かった年であり、テイクアウトのお店や弘前秋の大祭典などのイベントに参加できた際にインターネット等で紹介し活動拡大を目指した。

今年七月までサークル活動の休止があり、活動が行えなかったが、活動再開と共に、七月から学校の敷地内に屋台やキッチンカーの誘致を開始した。弘前露店商業組合と連携し、チリンチリンアイスや屋台や土手キッチンカーと協力し、飲食店支援のため、看護学部棟で地域の飲食店の弁当販売、焼き芋の屋台の誘致を行った。特に、キッチンカーによる弁当販売では、学校からのサークルの補助金や部費を使用して、学生には百円割引で提供し、好評であった。また、夏祭りのイベントへの協力も行った。これらの活動は、



人程度であった。コロナウイルスの影響もあり、残念ながら例年よりも参加人数は少ない状態であった。しかし参加人数が少ない分、各競技の競技時間を増やすことで選手はのびのびと競技にあたることができ、思う存分に楽しんでいった。

ここで各種目男女別に優勝チームとリザーダー名を紹介する。

バドミントン
(男子) 三浦 凌
チーム「オニオンハウス」

(女子) 川端 華歩
チーム「#ノリで参加してみた」

バレーボール
(男子) 河津 生吹樹
チーム「スクリュードライバー」

(男子) チーム「ミウラファーム」
齊藤 健太朗

(女子) チーム「卵」
パークレイ 沙里椰

優勝、準優勝、三位入賞したチームにはそれぞれ賞金や景品が贈られた。



た。例年と比べて参加チームが少なかつたものの、チーム一つひとつが会場を盛り上げ、それぞれ個性を出し合うことで、とても楽しい時間を過ごすことができたのではないだろうか。